

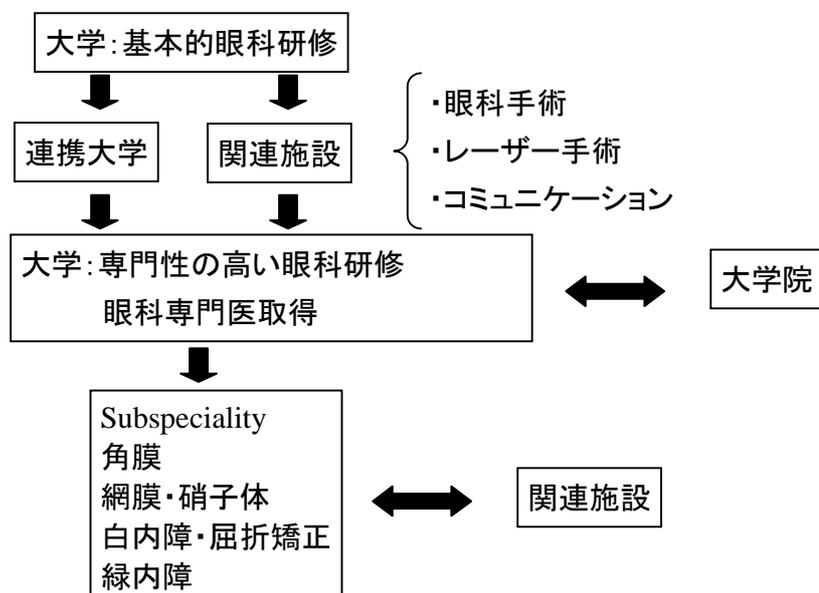
眼科専門医コース

コースの概要

眼科診療の基本技術を習得後、各分野に精通した眼科専門医の育成を目標とする。初年度は眼科診療固有の検査法、診察技術を集散的に教育し、ウェットラボにて眼内顕微鏡手術の訓練を行う。研修後半には白内障・屈折矯正、斜視・弱視、緑内障、網膜、眼窩・形成などの専門分野を研修する。

眼科専門医取得には4年間の眼科研修、所定数の眼科手術執刀件数(20件)と学術論文1報が必要であるため、後半は関連施設にて指導医の元、診療の前線で研修を積む。卒後5、6年目は大学にて病棟チーフ業務を担うことになり、後進の教育を通して指導力を培う。一方、本プログラムの重要な目標の一つはサイエンスが理解できる眼科臨床医を育成することである。前半研修の終了以降、大学院への進学を推奨している。角膜細胞生物学、電気生理学、水晶体などのコースから選択し、質の高い研究を通して学位の取得を目標とする。

また、大学で未開拓の分野においては、6年目以降、必要な関連施設や海外の施設への留学を推奨して新しい技術の獲得し、眼科専門臨床医を育成することとなる。



大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
岩手医科大学	眼科	眼科	4名	白内障	1名	1年
国立成育医療センター	眼科	眼科	3名	新生児、小児眼科	1名	1年
慶應義塾大学	眼科	眼科	10名	網膜疾患の診断、治療、手術について学ぶ	10名	1年
東京歯科大学市川総合病院	眼科	眼科	8名	角膜移植手術の技術修得	2名	1年
国立病院機構東京医療センター	眼科	眼科	5名	一般的な眼科診療と救急医療	2名	1年
岩手県立中央病院	眼科	眼科	1名	一般的な眼科診療と救急医療	1名	1年
岩手県立胆沢病院	眼科	眼科	1年	一般的な眼科診療と救急医療	1名	1年
岩手県立大船渡病院	眼科	眼科	1年	一般的な眼科診療と救急医療	1名	1年
岩手県立二戸病院	眼科	眼科	1年	一般的な眼科診療と救急医療	1名	1年
八戸赤十字病院	眼科	眼科	1年	一般的な眼科診療と救急医療	1名	1年
鹿角組合総合病院	眼科	眼科	1年	一般的な眼科診療と救急医療	1名	1年
岩手県立久慈病院	眼科	眼科	1年	一般的な眼科診療と救急医療	1名	1年

コースの実績

大学での 2 年間の基本研修に加え、関連施設で白内障手術、レーザー手術や緊急手術などの専門医として必要な幅広い領域の技術修得を実現。さらに大学で専門性の高い角膜移植、屈折矯正手術、網膜硝子体手術の研修を行ってきた。とくに網膜硝子体手術は大学で年間 500 件以上行っており、白内障は年間 1000 件以上行っている。

コースの指導状況

岩手医大附属病院眼科では日本眼科学会専門医育成認定施設となっており、10 名以上の眼科専門医が指導に当たっている。連携大学病院では同じく 10 名以上の、また関連病院でも各施設に専門医がおり、指導に当たっている。新研修医制度初年度より「眼科研修医プログラム」を作成し、行動目標、自己評価と指導者評価システムを実行している。毎朝 8 時からカンファレンス、勉強会を開催しており、講師陣による教育講演を充実させている。

専門医の取得等

学 会 等 名	日本眼科学会
資 格 名	眼科専門医
資 格 要 件	執刀手術 20 件以上、筆頭論文 1 報、学会発表、筆記。口頭試験
学会の連携等の概要	専門医指導施設としての申請を日本眼科学会に毎年更新している。